

男の娘♂専門学校～なりきり恥ずかし美少女オッパイ乳首&アナル開発変態メスイキ講習～

■注意事項

本作品は、女装マゾっ(こ)娘向けのジョーク作品よ♥

作品内で行われている行為等を実際に実行して、

君自身や、周りの人や物に実害が出たとしても、

制作者側はいっさい関知しないわ♥

虚構と現実の区別がつく、変態のマゾちゃんだけが、

全て自己責任で楽しんで頂戴ね♥

■プロローグ

ようこそ、(おとこのこ)男の娘専門学校へ♥

ここは、君たちみたいに、オスとして「とても弱い人たち」が、
この先の人生を幸福に過ごしていける様に、特別な訓練をする為の学校よ♥

特別な訓練って言うのは、ズバリ、「男の娘」になること♥

「おとこのこ」って言うても、普通の男の人のことじゃないわよ♥

「おとこのむすめ」って書いて「男の娘」♥

ここでは、普通の男の人のことは「男性」と呼ぶの。

「おとこのこ」って言う時は、全て「おとこのむすめ」、

つまり、身体は男性だけど、将来、

「女の子としての人生を歩む人」のことを指すのよ♥

この社会で、君たちみたいに「よわあい男性」が幸福になるには、

強い女性や強い男性と主従関係を結んで、

その(ひごか)庇護下に置いてもらうのが一番なの♥

そして、仕事やプライベートで、

ご主人様の身の回りのお世話をさせて貰ったり、

時には「ペット」として、(あいがん)愛玩して頂くのよ♥

そう、力のある人たちは、常に、何でも言うことを聞く、

従順な「男の娘」を求めているの♥

ここでは、君たちが「強いご主人様」に気に入って頂ける様、

お化粧を始め、女の子としての仕草、それに…くす、

一番大事な「あっちのこと」も、全てを丁寧に教えてあげるわ♥

そう、あっちのこ・と♥ くす、みんなだいたい想像はついてるでしょう？

ほとんどのご主人様は、側に置く男の娘に、

あらゆる「性の関係」を求めて来るわ♥

主従関係の契約を結んだ男の娘には、

ご主人様との「性行為」を拒否する権利は無いの。

だからこそ、少しでも素敵なお主人様に出会える様に、

君たちはココでお勉強して、

「女の子としての魅力」を磨かないといけないの♥

もちろん、男の人が可愛い女の子になるのは、とっても大変なことよ。

本当は男性なのに、女の子のブラジャーをつけたり、

可愛いパantyを履いて、ずっと生活するのよ？

君たちにそれが出来るかしら？

くすっ、誰でも最初はとっても恥ずかしいわ♥

でも大丈夫、きっと卒業する頃には、君たちは心も身体も、

可愛い可愛い女の子になっているわ♥

先生たちと一緒に頑張りましょうねえ♥

授業内容は、自分で好きなモノを選択出来るけど、

その日の講習を受ける前に、必ず聞いて欲しい音声があるの。

みんながより女の子になれる様に、学校から支給される「暗示の音声」よ♥

強いご主人様に気に入って頂くには、身体はもちろん、

心の底から、「自分は可愛い女の子なんだ」って信じる事が大切な♥

毎回必ず、この暗示ボイスを聞いてから、各講習を受けて頂戴ね♥

それじゃあ、また授業で会いましょう♥

みんなちゃ〜んと、可愛い女の子の格好をして来るのよお♥

■可愛い女の子になっちゃう暗示ボイス

さあ、身体力を抜いて…意識を耳に集中させるの…♥

これは、君が心も身体も「可愛い女の子」になっちゃう暗示ボイス♥

そう、今から君は、とっても可愛い女の子になるのよお…♥

君は今、お化粧をして、可愛い女の子の服を着ているわ♥

サラサラのシャツに、ヒラヒラのスカート♥

もちろん、下着だって女の子のモノを身に着けて、

ブラジャーでオッパイを、そして、

可愛いパニーティーでお(また)股を隠してる♥

くすっ、とっても似合ってるわよお♥

もう全身、誰が観ても完璧な美少女だわ♥

そう、君はすごくすごく「可愛い」女の子♥

女性も男性も、み～んなが可愛い君のことを愛してる♥

君が女の子になればなるほど、みんなが君に好意を抱いてくれるわ♥

だから君は、もっともっと可愛い女の子にならなきゃいけないの♥

ほら、自分でも言い聞かせて♥

私は女の子になる♥ 可愛い可愛い女の子になる♥

そう、私は女の子♥ 私は可愛い可愛い女の子♥

女の子になった私を観て欲しい♥

女の子になった私を可愛がって欲しい♥

女の子になった私に、「恥ずかしいこと」をして欲しい♥

さあ君はもう、身も心もすっかり女の子よ♥

ここから先、どんなことをするにも、全て女の子として反応しちゃうわ♥

当然よね？ だって、君は女の子なんだもの♥

男性なら平気なことでも、可愛い女の子の君にとっては、

この世は「恥ずかしいこと」でいっぱいよお♥

さあ、全てを受け入れて、「生まれ変わった自分」を楽しみましょう♥

■第1話_性感帯開発講習・おっぱい&乳首コース

はあい、それじゃあ、「おっぱい乳首コース」の

性感帯開発講習を初めていくわよお♥

うん、みんな綺麗にお化粧出来てるわねえ♥ エラいわあ♥

いい？ お化粧をして、女の子の可愛い服に身を包んでいる君たちは、

もう心も身体も、「完璧な女の子」よ♥

みんなとっても可愛いわあ♥

さあ、目を閉じて…♥

これからみんなの「(おむね)お胸」を、

「女の子のオッパイ」にしちゃうわよお♥

自分の「お胸」に意識を集中して頂戴♥

みんなは今「女の子」なんだから、お胸には「オッパイ」があるの♥

(じっくり)

そう、オッパイよ、オッパイ♥ みんなの「お胸」は「女の子オッパイ」♥

今からその女の子オッパイを、未来のご主人様に気に入って貰える様に、

とっても敏感で、感じやすいオッパイにしちゃおうね♥

オッパイはねえ、君たちが「スケベな女の子」になればなるほど、

感度のいい「スケベおっぱい」になるのよお♥

さあ、ゆっくり両手で…、

服の上から自分の「女の子オッパイ」に、手の平を覆い被せて♥

そう、ああん♥ みんな恥ずかしそうな顔が、とっても可愛いわよお♥

あら？「もう」吐息が漏れちゃってる(こ)娘がいるじゃないの、くす♥

さあ、そのままゆっくりと、自分の「女の子オッパイ」を揉んであげてえ♥

オッパイも～みもみ♥「女の子オッパイ」を、も～みもみ♥

やあん、恥ずかしいねえ？

みんな今、自分で自分のオッパイをモミモミしてるのよお？

さあ続けて、オッパイもみもみ♥ 女の子オッパイもみもみ♥

(喘ぎ声1 おとなしめ テンポおそい)

何だかとっても「切ない気持ち」になっちゃうねえ？

でも怖がっちゃダメよお？

その感覚を、「いやらしい気持ち」に変えていくの♥

ほおら、オッパイを揉みながら、頭の中で何度も自分に言い聞かせて♥

(先生が代わりに代弁)

「オッパイ気持ちいい♥ 女の子オッパイ感じちゃう♥」

「私は女の子♥ 私は、自分でオッパイを揉んで感じちゃう、スケベな女の子♥」

オッパイもみもみ♥ 「スケベおっぱい」を、イヤラシイ手つきで、もみもみ♥

ああん、みんなとっても可愛いわよお♥

さあ、着ているシャツをはだけて…、ブラジャーを露出させましょうねえ♥

ちゃ〜んと、ご主人様に脱がされているところを想像しながらよお？

ほおら、ブラジャーが見えちゃったあ♥

まあ、そんな可愛らしいブラジャーで、オッパイを隠していたのお？

あらなあに、オッパイ観られるの恥ずかしいの？

うふふ、不思議ねえ？

男の人なら、オッパイや乳首を観られるくらい、平気なハズよねえ？

でも今からブラジャーをズラして、オッパイを観られると思うと、

とっても恥ずかしいよねえ？

それはねえ…、みんながもう、すっかり「女の子」だからよお♥

その恥ずかしい気持ちを否定しないで♥

もっともっと女の子になりきって、恥ずかしがっていいのよ♪

(先生が代わりに代弁)

「ああん、オッパイ観られるの恥ずかしい♥」

「ご主人様に、女の子オッパイ観られるの恥ずかしいよお♥」

でも、どんなに恥ずかしがっても、ご主人様は、

「ブラジャーをズラして、オッパイを見せなさい」って命令されるわよ♥

(ニヤニヤ追い詰める感じで)

どうする？ 恥ずかしいねえ？

ご主人様にオッパイ観られるの、恥ずかしいねえ？

(ニヤニヤ冷たく)

でも、分かっていると思うけど、ご主人様の命令は絶対よ♥

さあほら、ブラジャーをズラして♥

ご主人様に、君たちの「女の子オッパイ」を観て頂きなさい♥

そう、ゆっくりとブラジャーをズラして…♥ ああ、見えちゃう見えちゃう♥

…いやあん、オッパイ見えちゃったあ♥

ご主人様に、オッパイも乳首も、ぜえ〜んぶ見られちゃったよお♥

ああん、恥ずかしい、恥ずかしい♥

うふふ♥ その泣きたくなっちゃうくらい「恥ずかしい気持ち」が、

みんなの心の中の「女の子」よ♥

その「恥ずかしい気持ち」で、

君たちのオッパイや乳首、今すっごく敏感になってるわあ♥

さあもう一度…今度は服の上からじゃなくて、
直接オッパイを揉んで上げましょうね♪

両手でオッパイを包んで、もみもみ♥ もみもみ♥

敏感になってる女の子オッパイを、いやらしい手つきで、
もみもみ♥ もみもみ♥

ね、ほら♥ さっきよりもっとオッパイが感じちゃうでしょう♥

みんなが「エッチな女の子」だっていう証拠よ♥

君たちはみ～んな、「見られながらオッパイもみもみ」して感じちゃう、

エッチで変態のスケベちゃんよお♥

ほら、オッパイもみもみして、先っぽ♥ 「乳首」がジンジンしてきたわよお♥

(ニヤニヤ意地悪に)

ああら？ オッパイもみもみしてるだけで、
もう乳首が勃起しちゃってる娘がいるわねえ？

ほら、正直に手を上げて♪

(先生が代わりに代弁)

「はい、私、オッパイもみもみしただけで、乳首が勃起しちゃいましたあ〜」

うふふ…そう♥ 正直でエラいわよお♥

いいわ、手を下ろしてえ♪

それじゃあ、その勃起しちゃった乳首をみんなに見せてあげてえ♥

ほおら、手で隠さないの♥

みんな良く観てえ♪

「オッパイもみもみ」だけでビンビンになっちゃった、

この娘たちの「エッチな乳首」♥

ねえ、すごいでしょ？ この娘たちは、

ちゃんと女の子みたいに、刺激に反応して乳首が勃起しちゃっているのよお♥

あら、どうしたの？ 先生別に怒ってるわけじゃないのよお？

すごくスケベでエッチなオッパイだねえって、褒めてあげてるの♥

他のみんなも、はやく敏感な「女の子オッパイ」になれる様に、

いっしょに頑張りましょうねえ♥

はあい、それじゃあ、いよいよ乳首を刺激していくわよお♥

あら、真っ赤になっちゃって、可愛い♥

うふふ、自分の乳首を触るのなんて、初めてじゃ無いんでしょう？

あ、でも今日は、いつもより敏感になってるかもしれないから、

十分気をつけて触ってねえ♥

さあみんな、自分の乳輪にそって、クルクルって人差し指の先を動かしてえ♥

まだ乳首には触っちゃダメよお？

女の子オッパイの乳輪にそって、指先をクルクル♥

うふふ♥ 敏感な部分とそうじゃない部分の境目を、クルクル♥

ああん♥ ゾクゾクした快感で、身体がピクピクしちゃうねえ♥

続けて♥ 女の子オッパイの乳輪を、クルクル♥

乳輪クルクル♥ 乳輪クルクル♥

あん、ああん♥ オッパイ気持ちいいねえ♥

早く乳首に触りたいよねえ？ でもまだダメ♥

自分で自分の乳首をじらしてあげて♥

ほおら、乳首触りたい♥ 乳首触りたい♥ って、

心の中で何度もオネダリしながら、乳輪クリクリ♥ 乳輪クリクリ♥

触りたい、触りたい♥ 乳首に触りたい♥ うふふ♥

それじゃあ、敏感になってる両方の乳首の先を、指先でツンってするよお♥

その時に、女の子になりきって、「ああん♥」って喘いでみましようか♥

いくよお、乳首触りたい、乳首触りたい♥

はい、乳首の先を、ツン♥

(先生が代わりに代弁)

「ああん♥」

くす、オッパイも乳首も、とっても気持ちいいねえ？

みんなが今、「本当の女の子」になっちゃってる証拠よお♥

ほおら、オッパイの先を、ツンツン♥ 「あん、あん♥」

女の子乳首を、ツンツン♥ 「あん、あん♥」

さあ次は、親指と中指で、乳輪をギュって拵げてあげて♪

そうするとねえ、乳首が(※は)張って、

先っぽが更に敏感になっちゃうのよお♥

さあ、そのままの状態で、

今度は乳首を指先でピン♥ って、軽く(はじ)弾くわよお♥

ほおら、乳輪をギューって拵げてえ、「女の子乳首」を…

(焦らす)

あ♥ ちゃんと、ピンって弾いたときに、「あん♥」 って、

女の子になって喘ぐのよお♥ うふふ♥

はあい、乳輪をギューって拵げてえ、女の子乳首を、

ピン♥ ピン♥ 「あん♥ ああん♥」

敏感になってる、スケベ乳首を、

ピン♥ ピン♥ 「あん♥ ああん♥」

うふふ、いやらしい娘たち、みんなとっても可愛いわあ♥

さあ、スケベな気持ちを、その敏感になってる乳首の先に集中させてえ♥

今度は、乳首を指先でクリクリしてあげましょうか♥

はあい、乳首クリクリ♥ 乳首クリクリ♥ 「あん、ああん♥」

(先生が代わりに代弁)

「いやあん、女の子になっちゃう♥ オッパイと乳首で、女の子になっちゃう♥」

ほおら、声を我慢しないで♥

思いっきりエッチな声で喘ぐのよお、可愛いスケベちゃんたち♥

(喘ぎ声2 ふつう テンポふつう)

オッパイを拵げてえ、乳首の先を、

クリクリ♥ クリクリ♥ 「あん、ああん、ああん♥」

(色っぽく嬉しそうに)

まあ、みんなイヤラシイ顔して♥

ほおら、大好きなご主人様に見て貰いなさい、

自分で乳首を虐めて、「スケベな顔」になってるところ♥

「スケベでごめんなさい、スケベでごめんなさい」って、

心の中で謝りながら乳首を触るのよお♥

ほおら、乳首クリクリ♥ 乳首クリクリ♥

(先生が代わりに代弁)

「あん、ああん♥ スケベでごめんなさい、スケベでごめんなさい♥」

うふふ、みんなの身体から、女の子のイヤラシイ匂いが溢れて、

教室全体がスケベな匂いになってるわよお♥

(ニヤニヤ)

あらあ〜？ 何だか落ち着かない様子の娘がいるわねえ？

まさかと思うけどお、「オチンチン勃起させてる娘」なんていないわよねえ？

(喘ぎ声 停止)

うふふ♥ ほら、正直に手をあげなさい♪

乳首に触ってるだけで、オチンチン勃起しちやっただって娘、はあい♪

…あら、やだ♪ まさか本当にいるなんて♥

女の子なのに、乳首の刺激でオチンチン勃起させるなんて、悪い娘たちねえ？

はあい、罰として、スカートをめくって、みんなに股間を見て貰いなさい♥

「いやいや」じゃないの、今は先生がみんなのご主人様役なのよ？

先生の言うことは絶対、わかった？

ほら、オチンチンお勃起しちゃった悪い娘は、

ゆっくりスカートをめくりなさい♥

(間数秒)

(ニヤニヤ、意地悪に)

まあ、みんな見てえ♥ この娘たちったら、女の子なのに、

乳首の刺激で「オチンチン」をお勃起させちゃってるのよお♥

スケベな変態ちゃんたちの、お顔とオチンチン、よおく見てあげてえ♥

うふふ♥ ほらそこ！ オチンチン隠さないの♥

(嬉しそう)

ふむ…、パンティーからオチンチンがはみ出してる娘もいれば、
パンティーの中でモッコリさせて、前にシミが出来ちゃってる娘もいるわねえ♥

ああそうだ、もう他の講習でも教えて貰ってる娘もいるかもしれないけど、
ここでの授業で、オチンチンの先がカウパーで濡れちゃった娘は、
必ず、そのお汁を指ですくって、自分で舐めなさいね♥

あら、なあに君？ 驚いた顔して？

うふふ♥ これから女の子として生きていく君たちが、
男性のカウパー液や精液の味に慣れておくことは、
とっても大事なことなのよお♪ うふふ♥

(少しゆっくり目に)

さあ、オチンチンの先っぽが濡れちゃってるスケベちゃんたちい、
自分のカウパー液を指ですくって、口の前まで持って来てえ♥

(数秒 間)

はあい、ぺろぺろ♥ 自分のオチンチンのお(しる)汁を、
ぺろぺろ♥ ペロペロ♥

はい、飲み込んで、ごっくん♥

うっふふ、どう？ オチンチンの味は？

「自分の体液の味」って、すごく「スケベな気持ち」になっちゃうでしょう？

さあほら、女の子乳首が、エッチな体液の味で、

もっともっと刺激に敏感な、「変態乳首」になっちゃったわよお♥

このまま、オッパイや乳首の刺激だけで、イっちゃえるかなあ？

さあもう一度♥ オッパイもみもみ♥ オッパイもみもみ♥

乳輪を指で拵げて、乳首の先を、ツンツン、クリクリ♥

もっともっとエッチな声で喘いでいいのよお？

女の子になりきって、エッチな声を出せば出すほど、

オッパイや乳首が、どんどん敏感になっちゃうから♥

さあ、乳首の先を弾いてえ♥ ピン♥ ピン♥ 「あん♥ ああん♥」

敏感になってる、女の子乳首を、ピン♥ ピン♥ 「あん♥ ああん♥」

次は両手の「手の位置」を固定して、

「自分の身体の方」をゆらして、指に乳首を擦りつけなさい♥

ほおら、乳首を突き出して…クリクリ♥ 「あん♥ あん♥」

ピンってとんがった「スケベな乳首」の先を、

自分の指に、クリクリ♥ 「あん♥ あん♥」

クリクリ、クリクリ♥ 「あん、あん、ああん♥」

やあん、みんなとってもスケベな顔になってるわあ♥

うふふ♥ はあい、もう指の方を動かしていいわよお♥

それじゃあ次は、オッパイと乳首の刺激だけで、

「メスイキ」しちゃおうか？

うふふ、そう、「メ～ス～イ～キ♥」

オチンチンの射精と違って、「脳で絶頂」を感じる、

男の娘だけに許された、とってもイヤラシイ反応よお♥

もうメスイキを体験している娘もいるかもしれないけど、
まだ、乳首の刺激だけでメスイキ出来ない娘は、
「ああん、あおん♥」 ってイヤラシイ声で喘ぎながら、
ビクビクって身体を痙攣させて、
「イッたフリ」するところから始めましょうね♥

そうしているうちに、本当にオッパイや乳首でも、
イける様になっちゃうから♥

さあみんな、女の子乳首の快感で、
スケベな喘ぎ声を出してイっちゃうのよお♥

お胸を突き出して、乳輪をギューっと拵げてえ♥
ピンッピンに勃起した乳首を、指先で可愛がってあげるの♥

ほおら、乳首をクリクリ、クリクリ♥ 「あん、あん、ああん♥」

(喘ぎ声3 強め テンポはやめ)

(先生が代わりに代弁)

「気持ちいい、気持ちいい♥」

「女の子オッパイ気持ちいい、女の子乳首イっちゃう♥」

乳首クリクリ♥ 乳首クリクリ♥ 「あん、あん、ああん♥」

「メスイキしちゃう、オッパイと乳首で、女の子になっちゃう♥」

乳首クリクリ♥ 乳首クリクリ♥ 「あん、あん、イク、イク♥」

(盛り上げる)

ほら、イヤラシイ声を聞かせて、可愛らしいスケベちゃんたち！

(先生が代わりに代弁)

「ああん、イクイクイクら、オッパイ乳首で、メスイキするうう〜♥」

「んああ、あああああ〜〜〜ん♥」

(数秒 間)

ああん、みんなとってもイヤラシイ顔よお♥

スケベちゃんたちの、こんな恥ずかしい姿をみたら、

ご主人様たちは、み〜んな我慢出来なくなっちゃうわねえ？

うふふ♥

オッパイや乳首で、うまくメスイキ出来た娘は、

「お(うち)家でも」女の子になりきって、乳首オナニーを楽しんでね♥

まだ上手くメスイキ出来なかったという娘も、
メスイキには個人差があるから、けっして焦っちゃダメよお♥

(からかう様に)

くす、「上手く出来るお友達」に、乳首を触って貰って
コツを教えてもらうのもいいかもしれないわねえ♥

あら、どうしたの？ みんな真っ赤になっちゃってえ♥

いいのよお？ 男の娘同士で、「エッチのお勉強」を教えあっても♥

くす、はあい、それじゃあこれで、

今日の「おっぱい乳首コース」の講習はお終いです♥

みんなこれからも、女の子になりきって、

オッパイや乳首で、オナニーを楽しんで頂戴ね♥

■第2話_性感帯開発講習・アナル&前立腺コース

はあい、それじゃあ、「アナル前立腺コース」の、

性感帯開発講習を初めるわよお♥

アナル…つまり「お尻の穴」は、男性のご主人様との性行為の時に、

お相手のペニスを受け入れて、ご満足頂く為のとても大切な器官よ♥

もちろん、お相手が女性のご主人様であっても、

疑似ペニスを使ったアナルセックスで、

男の娘を(め)愛でる人はたくさんいるわ♥

しっかりとアナルを開発して、女の子の様に感じられる様になりましょうね♥

知っての通りアナルは、男の娘にとって、最大の性感帯とも言える、

「前立腺」へのアプローチとしても、重要な器官です♥

ペニスの射精を伴わない、女性的なオルガズム、

「メスイキ」を体験するには、オッパイや乳首だけでなく、

お尻の穴、特に「前立腺への刺激」が重要になります♥

みんな(あせ)焦らずじっくり、アナルや前立腺を開発しましょうね♥

それじゃあ、すでにアナルオナニーの経験がある娘もいるかもしれないけど、

ここではみんなと一緒に、順番に進めていくわよお♥

さて、今日は、アナルや前立腺を刺激する為の「大人向けのオモチャ」を

用意して来て貰ってると思うけど、手に持って見せてくれるかなあ？

…ふむ♥ アナルオナニー初心者の娘は、やっぱり細身のディルドーね♥

中級者の娘は少し太めになったり、形がゴツゴツしてるのもあるかな♥

それに、最近はやっぱ、「前立腺を」刺激する為の、

「専用のオモチャ」を用意してくる娘も多いわねえ♥

あら！？ 君は、そんな「大きいの」をいつも使っているの？ うふふ♥

あん、恥ずかしがらなくて大丈夫よお♪

アナル開発や前立腺開発は、

「自分に合った」オモチャを使うのが一番大事なんだから♥

何より大切なのは、今からするエッチな行為を、

「女の子になりきって」楽しむことよ♥

さあ、マットの上で、「オモチャをアナルに挿入しやすいポーズ」をとって頂戴♥

みんなそれぞれ、「自分が感じやすいポーズ」でかまわないわよ♥

そして、自分に言い聞かせてえ♥

「私のお尻の穴は、オマンコ♥ 私のお尻の穴は、女の子のオマンコ♥」って♥

(暗示をかける様に)

そう、みんなは可愛い可愛い女の子♥

今からオモチャが挿入されるお尻の穴は、「オマンコ」よ、「オマンコ」♥

可愛い女の子が、「お尻のオマンコ」で、今からオナニーをするの♥

うふふ♥ さあ、用意したオモチャに、

たっぷりとセックスローションを塗ってえ♥

それから、今からすることを想像するの…♥

「ああ、今からこのオチンポが、私のオマンコの中に入るんだ」って♥

うふふ、ゾクゾクしちゃうでしょう？

あん、みんな表情がイヤラシくなってる♥

いい？ これから先生が、

君たちの代わりに、「ご主人様へのオネダリ」を代弁してあげるから、

本当に自分が言ってる所をイメージして、オナニーするのよ♪ いいわね？

ほおら、心の底からオモチャを…、ううん、「オチンポ」を欲しがってえ♥

(先生が代わりに代弁)

「ああん♥ オチンポ欲しい♥ オチンポ欲しい♥」

「私のグッチョリ濡れたオマンコに、

ご主人様のオチンポ(い)挿れて下さい♥」

さあ、ガチガチに勃起したオチンポを、お尻の穴に(こす)擦りつけてえ♥

まだ挿れちゃダメよ？

お尻をフリフリして、もっとオチンポをオネダリよお♥

「あん、ああん♥ オチンポ欲しい♥」

「オチンポ挿れてえ♥ オチンポ挿れてえ♥」

もっと「心の底から」女の子になりきって、イヤラシクお尻を振るの♥

ほら、スケベな顔でご主人様にオチンポをオネダリしなさい♥

「ああん、挿れてえ♥ オチンポ挿れて♥」

「ご主人様のオチンポで、私のオマンコを可愛がって下さい♥」

くす♥ いいわ、挿れなさい♥ 力を抜いて、オチンポを挿入するの♥

(喘ぎ声1 おとなしめ テンポおそい)

「いやあん、入ってきたあ♥ ご主人様のオチンポが、
お尻のオマンコに入ってきたあ♥ あ、あ、ああん♥」

あらあら♥ 挿入しただけで、エッチな声が漏れちゃってる娘がいるわねえ？

あん、いいのよお♥ 女の子みたいにイヤラシイ声で喘ぐことは、
君たち男の娘のオナニーやセックスでは、とっても重要なことよ♥

自分は今、こんなにエッチな声で喘いでいるんだって思うだけで、
君たちの中に眠る、「女の子の部分」がどんどん目を覚ますの♥

だから、「喘ぎ声」を我慢しちゃダメ♥

むしろ、自分から「わざと」エッチな声を出して、

もっともっと、自分の中の「スケベな女の子」を呼び覚まさない♥

さあそのまま、ぐうっと奥まで入れてえ♥

ほおら、女の子「だけ」が感じられる、お腹の中にオチンポが入って来る感触、

たっぷりと楽しみなさい♥

うふふ、お尻オマンコから、イヤラシイ「快感」が全身を駆けめぐるねえ？

そのまま、全部出さずに、ギリギリのところまで抜いてえ…♥

そう…、抜く時は、(い)挿れる時とはまた違う快感があるでしょう？

女の子になりできれば、「挿れる快感」も「抜く快感」も、
どっちも病みつきになっちゃうわよお♥

さあ、またオチンポを奥まで入れるよお♥ ぐちゅう〜♥

ほおら、君たちは今「女の子」よ♥

その「お腹の中でオチンポが動く快感」が、

「女の子の(よろこ)悦び」なの♥

「ああん、女の子なっちゃう♥ 女の子になっちゃう♥」

うふふ、ギリギリまでオチンポ抜いてえ♥ 挿れてえ〜♥

ほおら、みんな今、女の子になってセックスしてるよお♥

気持ち良くて、頭が変になりそうだねえ♥

さあ、出し入れを何度も繰り返すよお♥

(喘ぎ声2 ふっう テンポふっう)

オチンポ、グチュグチュ♥ オチンポ、グチュグチュ♥

女の子オマンコで、オチンポ、グチュグチュ♥

(先生が代わりに代弁)

「あん、あん、ああん♥ 「女の子セックス」気持ちいい♥

お尻のオマンコで、女の子になるの気持ちいい♥」

ああん、みんな「女の子の顔」になってるわあ♥

ほら、お尻を振って、もっとオネダリしてえ♥

お尻フリフリ♥ お尻フリフリ♥

「ああん、ああん、もっと私のお尻マンコを可愛がって下さい♥」

くすくす、やだあ、自分でお尻を振ってオチンポをオネダリするなんて、

この「変・態」♥

うふふ、今「変態」って言葉に反応しちゃった娘は、

「マゾ気質」があるから、しっかり自覚しておきなさいよ♪

君たちは、本当は男なのに、

女の子の服を着てお尻マンコを虐められるのが好きな、「ど変態」よ♥

どSなご主人様と主従関係を結んで、いっぱい「変態調教」して頂きなさい♥

あら？ 恥ずかしがって、喘ぎ声を我慢してる娘がいるわねえ？

ダメよ、もっと自分の中の「女の子」を解放して、イヤラシイ声で喘ぎなさい♥

ほおら、オチンポグチュグチュ♥ オチンポグチュグチュ♥

スケベなお尻オマンコの中で、硬いオチンポが動いてるわよお♥

(先生が代わりに代弁)

「あん、あん、ああん♥ 気持ちいい、オマンコ気持ちいい♥

もっとオチンポ動かして、私のお尻マンコを「女の子」にして下さい♥」

「いやああん♥ お尻が「女の子」になっちゃう♥

ご主人様のオチンポで、私のお尻の穴が「女の子」になっちゃう♥」

ほおら、君たちは今、心も身体も「女の子になって」セックスしてるのよ♥

もっともっと自分に暗示をかけてえ♥

「私は女の子♥ 私のお尻の穴は、女の子のオマンコ♥」

「ああん、オマンコいい♥ オマンコいい♥ オマンコ気持ちいい♥」

「スケベにしてえ、女の子の私を、

もっと「オチンポ(ず)好きのスケベ」にしてえ♥」

うふふ、大丈夫、みんなもうとっくに「オチンポ好きのスケベちゃん」よお♥

お尻のオマンコで、こおんなに「エロい声」を出して感じてるんだもの♥

オチンポでお腹の中を掻き回されると、勝手に卑猥な声が漏れちゃうでしょう？

それは、みんなが「どスケベ」の「ど変態女装っ娘」だっていう(あかし)証よ♥

いい？ 君たちはもう、「オチンチンを触るだけのオナニー」なんかじゃ、

ちっとも満足出来ない、「ど変態の身体」になっちゃったのよお♥

さあ、そのまま、オモチャで「前立腺」を刺激するわよお♥

みんな、前立腺の場所は知ってるわよねえ？

お尻の穴の中。丁度オチンチンの裏側くらいに、

男の娘が、いっちばん「女の子になっちゃう部分」、前立腺があるわぁ♥

さあほら、オモチャのオチンポで、その部分を押しちゃうよお〜♥

女の子になっちゃう「スケベボタン」、前立腺をお…グウ〜♥

(うっとりする感じで)

あぁん♥ 気持ちいい♥ トロけちゃいそうだねえ♥

オチンチンに触ってもいないのに、こおんなに気持ち良くなれちゃうなら、

もう「男である必要」なんて、何も無いわよねえ？

ほおら、ヌルヌルのオモチャで、前立腺をズンズン押し上げてえ♥

「あぁん、前立腺で女の子になっちゃう♥ 前立腺で女の子になっちゃう♥」

そう、前立腺の快感に目覚めた男の娘は、

みい〜んな「女の子」になっちゃうのよお♥

ほら、前立腺を刺激しながら、わざとイヤラシイ声で喘ぎなさい♥

(先生が代わりに代弁)

「あん、あん、ああん♥ 気持ちいい♥ 前立腺気持ちいい♥」

「お尻マンコと、前立腺で「女の子」にしてしてえ♥」

大丈夫、みんなすっかり女の子になってるわよお♥

ほおら、お尻フリフリ♥ お尻フリフリ♥

(ちょっと意地悪)

くすくす、やだあ♥ どスケベの「女装っ娘ちゃん」たちが、

自分でお尻を振って、お尻のオマンコで感じてるう♥

うふふ♥ 可愛い顔して、よくそんなイヤラシイことが出来るわねえ、

この「変・態♥」

本当は男なのに、お尻の穴にオモチャを出し入れさせて感じるなんて、

みい〜んな、「どスケベ」の「ど変態」よ♥ うふふ♥

(わざとらしく驚いてみせる)

あら、やだ！？ (いじ) 弄ってるのはお尻の穴と前立腺なのに、

オチンチンが勃起しちゃう娘がいるじゃないの！？

いっさい触ってもいないのに、どうしてオチンチンが勃起しちゃうのかしらあ？

(少しだけ叱る様に)

ほら、オチンチンが勃起しちゃってる悪い娘は、お股を開いて、
みんなにそのイヤラシイ「お勃起チンチン」を見て貰いなさい！

さあ早く！ ご主人様にお股を開きなさいって命令されたら、
君たちに逆らうことは許されないのよ？ はい、お股を開いて！

うふふ♥ ほら、みんな見て上げて♥

お尻の穴で感じて、「触ってもいないのに」勃起しちゃってる、
変態ちゃんたちのオチンチンよお♥

こんなにビッキビキに勃起させて、ほんとと悪い娘たちねえ？

分かってるの？ 今の君たちは女の子なのよ？

女の子はオチンチンを勃起させたりしないの♪

ほら、そこの君、早くオチンチン小さくしなさい？

どうしたの？ 君は女の子なんでしょう？

ちょっと、やだ！？ オチンチンに注目されて、

もっとビクビク反応させてるじゃないの、この変態め♥

あれえ？ しかも、先っぽが透明なお汁で濡れてるわよねえ？

なあに？ お尻オマンマンをグチュグチュして、

オチンチンの先が濡れちゃったのお？

うふふっ、イヤラシイ♥

ほら、そのお汁、自分の指ですくって舐めなさい♥

どうしたの？ いつも言ってるでしょう、君たち男の娘は、

カウパーや精液の味に慣れておかないといけないって♥

ほら、他の娘もよ♪

オチンチン勃起しちゃう娘も、そうじゃない娘も、

「先っぽを濡らしちゃう様な悪い娘」は、みんな自分ですくって舐めなさい♥

そう、指先でカウパーをすくってえ…、口まで運んで…、

スケベな音を立てて舐めるのよお♥

(↓ここは音ではなく、文字として呼んで下さい)

ペロペロ、チュパチュパ♥ よおく味わってえ…、ゴックン♥

うふふ、どう？ 「自分のカウパーの味」は？ 美味しい？

くす、あれえ？ こんな変態行為を強要されてるっていうのに、

オチンチンの勃起が、ちっとも(おさ)治まらないわねえ？

なあに？ こんなことさせられて、興奮してるのお？ この変態♥

ほら、「自分のカウパー」を飲む「スケベな顔」、

お友達に観て貰いなさい♥ うふふ♥

よおし、それじゃあ、「お尻オナニー」を続けるわよ♥

オチンチンの先が濡れちゃった娘は、みんなその(つど)都度、

自分ですくって舐めるのよ♥ いいわね？

ほおら、もう「イヤラシイ気持ち」が自分でも抑えられなくなってるねえ？

クネクネお尻を振って、もおっとオチンポをオネダリよお♥

「あん、あん、ああん♥ もっと私のお尻マンコを使って下さい♥」

さあ、もっとオモチャをグチュグチュ出し入れさせてえ♥

「エッチな言葉」を使って、ご主人様に喜んで貰うわよお♪

(喘ぎ声3 強め テンポはやめ)

「あん、あん、ああん♥ 私のお尻マンコは、

オチンポ好きの、変態マンコですう♥」

「イヤラシイ声で鳴きますので、もっともっと私のスケベマンコを、

ご主人様のオチンポで可愛がって下さい♥」

ほおら、女の子になりきってイヤラシイ声で喘いだら、

お尻マンコや前立腺が、どんどん敏感に「ど変態」になっていくわよお♥

さあほら、深いところを掻き回して♥

「あん、あん、ああん♥ オマンコの深いところが、
オマンコの深いところが、「女の子」になっちゃおう♥」

そう、ご主人様に、「女の子」になってる恥ずかしい自分を、観て貰うのよ♥

「あん、あん、ああん♥ ああ、ご主人様あ♥
アナルセックスで、「イヤラシイ女の子」になってる私を観てください♥」

そうよ♥ もっと普段は隠してる、「スケベな気持ち」を解放して♥

オチンチンの射精じゃなくて、頭の中、
「脳」でオルガズムするのよ♥
お尻マンコや前立腺に感覚を集中させたら、快感が頭まで突き抜けるわあ♥

何度も何度も、頭の中でくり返し言いなさい♥

(喘ぎ声4 強め絶頂前 テンポはやい)

(先生が代わりに代弁)

「あん、あん♥ 気持ちいい、気持ちいい、気持ちいい！」

「オマンコいい、オマンコいい、オマンコ気持ちいい！」

「女の子になっちゃう、女の子になっちゃう、

お尻マンコで、女の子になっちゃうう！」

いやあん、お尻マンコ、イっちゃいそうだねえ♥

いい？ いつも教えてる様に、お尻ではまだイけない娘も、

みんな「イったフリ」をするのよお♥

もちろん、オチンチンには触っちゃダメよ？

みんなは今「女の子」なんだから、

お尻マンコ「だけ」で「メスイキ」するの♥ いいわね？

ほおら、みんなもっとスケベな女の子になってえ♥

「ああん、気持ちいい、気持ちいい！」

「お腹の中で、オチンポ動くの気持ちいい♥」

「ああ、イっちゃう、イっちゃう♥ お尻マンコで「メスイキ」しちゃう♥」

「やあん、女の子になっちゃう♥ 女の子になっちゃう♥

お尻オマンコで、女の子になっちゃう♥」

(最後の盛り上げ)

いいわ、ほら「メスイキ」しなさい！ 変態マゾのスケベちゃんたち！

お尻マンコと前立腺で、「メスイキ」するのよ！

イヤラシク喘ぎながら、お尻オマンコでイってえ〜〜〜！！

(数秒 間)

(少し落ち着いて)

うふふ、すごい♥ みんなビクンビクン身体を痙攣させてる♥

(ニヤニヤ)

うっふふ、なあに？ 女の子になって、オマンコでイっちゃうの、
そんなに気持ち良かったのお？ この「変・態」♥ うふふ♥

はあい、これで「アナル前立腺コース」の講習はお終いよ♥

男の娘にとって、「性感帯の開発」はとっても大切なことよ♪

みんな、お(うち)家でも「毎日」自慰行為をして、乳首やお尻オマンコを、

いやらしく「開発」しましょうね♥

■第3話_ご主人様との性行為疑似体験講習1_アナルセックス

はあい、それじゃあ、「ご主人様との性行為疑似体験コース」

の講習を初めていくわよお♥

今日は実際に、「男の娘同士」でペアを組んで「セックス」をして貰います♥

みんな、隣の娘と手を繋いで、ペアを確認して頂戴♥

(数秒 間)

…うふふ、なあに？ みんな真っ赤になっちゃって♥

そうよお、君たちは今から、手を繋いでいる相手の男の娘と、

「セックス」をするのよ「セックス」♥ ドキドキするでしょう♪

あら？ 君、ひとりなの？ そう、隣の娘がお休みなのね。

…いいわ、それじゃあこっちにいらっしやい♥

君の相手は、先生がしてあげる♥

…どうしたの、早くいらっしやい♪

君の将来のご主人様は、女性かもしれないのよ？

(みんなに)

さあ、みんなは話し合って、「ご主人様(やく)役」と「男の娘役」、

それぞれの役割を決めて頂戴♥

(ペアに)

私たちは勿論、先生が「ご主人様」で、

君が何でも言うことを聞く、可愛い可愛い「男の娘」ね♥

クラスみんなの「お手本」になれる様に、一生懸命頑張ろうねえ♥

はい、みんな、役割は決まったかしら？

ご主人様役の娘たちは、今日だけは「男性」として、

ペアの男の娘をいっぱい可愛がってあげるのよお♥

さあ、ペアの娘と向かい合って、お互いの目を見つめてえ♥

まずは、気持ちを高める為に、キスをするわよお♥

くすっ、そう、キスよ、キ・ス♥

今、目の前にいるのは、将来の自分のご主人様だと思って、

愛情を込めて、キスするのよお♥

さあ、目を閉じて…、ゆっくり唇を重ねましょう♥

「んん、チュ♥」

ああん、幸せな気持ちでいっぱいになるねえ♥

続けてえ♥

「んん、チュツ、チュプツ♥ ん〜、チュツチュ♥」

いいわあ、みんなとっても可愛いわよお♥

さあ、ご主人様役の娘は、リードする様に、

相手の男の娘の口の中に、舌を入れてあげて♥

「ああむ、クチュツ、チュプ♥ レロオ〜、チュ、ジュルル♥」

ほおら、だんだん、「幸せな気持ち」だけじゃなくて、

「イヤラシイ気持ち」があふれて来たでしょう？

あん、ウツリしちゃって、ほんとエッチな娘たちねえ♥

さあ、舌と舌を絡め合って、男の娘同士でディープキスよお♥

「んん、ジュプツ♥ クチュ、レロレロ、チュパア～、チュ、チュ♥」

(ペアに)

ん、ほら、君も、ちゃんと先生の舌を吸いなさい♥

さあ、舌を出して♥

「チュプツ、クチュ♥ レロレロ、チュウ～～、チュポツ♥」

「うふふ、君の唾液、とっても美味しいわよお♥」

(みんなに)

あらあら、みんな真っ赤になっちゃって♥

「可愛い男の娘」同士で、イヤラシク唾液を交換する気分はどうかしら？

くす♥ さあ次は、ご主人様役の娘が、男の娘の後ろに回ってえ♪

椅子に座って、膝の上に乗せて上げてもいいし、

横になって後ろから抱き寄せてあげてもいいわよ♥

(ペアに)

さあ、君は先生の膝の上に座りなさい♥

そう、あらあら…身体がすごく熱くなってる♥

なあに？ 先生とのキスで、イヤラシク火照っちゃったの？ うふふ♥

(みんなに)

さあ、ご主人様役の娘は、後ろから男の娘のシャツを脱がせてあげてえ♥

シャツをたくし上げて…、ボタンがついてる娘は、

ひとつずつ、ゆっくり外してあげてねえ♥

あら、みんな恥ずかしいのお？ うふふ♥

でも、「ご主人様のなさること」に逆らっちゃ駄目よお？

君たち男の娘にとって、ご主人様は絶対の存在♥

どんなに「恥ずかしい命令」を受けても、口にしていい台詞は一つ♪

「はい、ご主人様♥」 だけよ♥

と言っても、さっきの「濃厚なキス」で、みんなウツリしちゃって、

拒否出来る娘なんていそうにないわね、くすくす♥

さあほら、どんなブラジャーをしてるか、ご主人様に見て貰いなさい♥

(ペアに)

まあ♥ 君はこんな可愛いらしいブラジャーをしてるのねえ♥

(ニヤニヤささやく様に)

ホントは男なのに、ブラジャーでオッパイを隠してるなんて、この変態♥

やだ、耳まで真っ赤にしちゃって、可愛い♥

(みんなに)

さあみんな、こう言って、ご主人様にオネダリよ♥

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああ、ご主人様あ♥ ブラジャーをズラして、

私のエッチなオッパイを観て下さい♥」 はい♪

(ペアに 優しく)

ほら、言いなさい♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ、ご主人様あ、ブ、ブラジャーをズラして、
私の…エッチな、オ、オッパイを、観て下さい」

くすくす♥ 可愛いらしい君たちに「オネダリ」されたら、
拒絶出来るご主人様なんて、いるわけ無いわよねえ♥

(脱がせながら)

いいわ、ブラジャーをズラしてあげる♥

いつもいっぱい触って、すっかり「女の子」になっちゃってる、
君の「エッチなオッパイ」、先生に見せてえ♥

(みんなに 先生もゾクゾクしています)

あらあら♥ みんなオッパイが「丸見え」になってるわよお♥

うふふ、まだまだ可愛いオッパイの娘もいれば、

本物の女の子のオッパイみたいに、

もうプックリ膨らんじゃってる娘もいるわねえ♥

乳首もピンク色で、みんなとっても綺麗なオッパイよお♥

さあ、次はこう言って、オネダリしましょうか♥

「ああ、ご主人様、敏感でイヤラシクなってる、

私の女の子オッパイを、後ろから触って可愛がって下さい♥」 はい♪

(ペアに)

ほら、言いなさい♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ、ご主人様、敏感でイヤラシクなってる、
私の、お、「女の子オッパイ」を、後ろから触って可愛がって下さいっ」

ああん、可愛い♥ もうメチャクチャにしてあげたい♥ うふふ♥

(みんなに)

さあ、ご主人様役の娘は、
後ろから、ペアの男の娘のオッパイを揉んであげてえ♥

みんないつもの様に、女の子になりきって、可愛い声で喘ぐのよお♥

(喘ぎ声1 おとなしい テンポおそい)

(ペアに)

ほおら、オッパイもみもみ♥ オッパイもみもみ♥

ああん、こんなに身体を熱くして♥

(少しトーン低く みんなに聞こえない様に)

うふふ、ホントは男なのに、オッパイ揉まれて喘ぐなんて♥

くすくす、オッパイ気持ちいいの？

ねえ、私の可愛い「変態のスケベちゃん」♥

(みんなに)

あらあら、オッパイが敏感になりすぎて、

身体がビクビク反応してる娘もいるじゃないの♥

みんなもう、すっかり「女の子オッパイ」ねえ♥

ほら続けて♥ 女の子オッパイを、優しく包んで…

もみもみ♥ もみもみ♥ 敏感になってる女の子オッパイを、もみもみ♥

さあ、オッパイを揉みながら、

ピンって勃起しちゃってる「乳首」を、指先で触ってあげるわよお♥

ほおら、ピンク色の可愛い「女の子乳首」を…

ツンツン♥ クリクリ♥ ツンツン♥ クリクリ♥

ああん、オッパイも乳首も気持ちいいねえ♥

みんなもう、意識しなくても、女の子みたいな喘ぎ声が漏れちゃってるわよお♥

そう、君たちは「可愛い女の子」♥

オッパイや乳首を触られて、恥ずかしい声で、「アンアン」鳴いちゃう、

とってもスケベな女の子よお♥

ほおら、もっと乳首で感じなさい♥

触れば触るほど、乳首が敏感になっていくわよお♥

乳首クリクリ♥ ツンツン、クリクリ♥

摘まんじゃうよお、女の子乳首をギュウ～～♥

オッパイもみもみ♥ オッパイふるふる♥

もみもみ♥ ふるふる♥ もみもみ♥ ふるふる♥

(ペアに わざと驚いて意地悪)

あら！？ ちょっと待って、やだ♪

君、オッパイ触られて、オチンチンが勃起しちゃってるじゃないの♥

もう、今オチンチンを勃起させていいのは、ご主人様役の娘だけでしょう？

(優しく こら〜と叱る様に)

ほら、他にも♪

男の娘役なのに、オチンチン勃起しちゃってる娘、いるわね？

はい、みんなお(また)股を開いて♪ 手で隠しちゃダメ♥

オッパイの刺激だけで、オチンチンがお勃起しちゃってるところ、

ご主人様に見て貰いなさい♥

まったく、困った娘たちねえ♥

ご主人様は、「女の子として」君たちを可愛がっているのよお？

ほら、こう言って謝罪しなさい♪

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああ、ご主人様あ♥ 女の子なのに、

オチンチンをビンビンに勃起させちゃって、ごめんなさい♥」

はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ、ご主人様あ…、女の子なのに、

オ、オチンチンをビンビンに勃起させちゃって、ごめんなさいい」

「罰として、オチンチンが射精しちゃった時は…、

うふふ♥ 「自分で自分の精子を飲みます」ので、許して下さい♥」

はい♪

…ほら、どうしたの、早く言いなさい？

なあに？ 「自分で自分の精子を飲む」って言葉に、驚いてるの？

うふふ、もう知ってる娘も多いと思うけど、
「一生女の子として」、ご主人様に仕える君たちは、
当然、精液を頂戴することもあるし、
女性のご主人様の中には、飼っている「ペットの男の娘」に、
「自分のザーメンを飲ませる」というプレイが、大好きな人も多いのよ♪

だから君たち男の娘は、今のうちから、
自分のカウパーや精液を口にして、その味に慣れておく必要があるのよ♥

ほら、分かったら、ちゃんと宣言しなさい♪

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「女の子なのに、オチンチンが射精しちゃった時は、
自分で自分の精子を飲みますので、許して下さい♥」 はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ、女の子なのに、オチンチンが…射精しちゃった時は、
自分で自分の精子を、の…「飲みます」ので、許して下さいい」

あらあ？ こ～んな恥ずかしい宣言をしてるっていうのに、
心臓がドキドキ、ドキドキしてるじゃないの♥

なあに、「自分のザーメン」を飲まされるって思うと、
興奮しちゃうのかしらあ？ うふふ♥

やだ、カウパーがトロトロ垂れてるじゃないの♥ この変態マゾめ♥
本当は飲みたくてしょうがないんじゃないの？ 「自分のザーメン」♥
うふふ♥

(みんなに)

みんな、オチンチンが濡れちゃってる娘がいたら、
ご主人様役の娘が、指ですくって舐めさせてあげてねえ♥

ほら、君のは、先生が舐めさせてあげる♥

指ですくってえ…、はい、お口を開いてえ♥

自分のカウパーを、ペロペロ♥

そう、イヤラシイ音を立てて舐めて、飲み込むのよお、

「自分のオチンチンのお・し・る」♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ…ん、チュツ…ペロ、レロレロ、ジュルルツ、チュプ♥」

「ごくん♥」

うふふ、甘酸っぱくて、美味しいねえ、自分のカウパーは♥

さあ、それじゃあ、いよいよ「お尻のオマンコ」で、

ペアの娘と「セックス」して貰うわよお♥

ご主人様役の娘は、ペアの男の娘の「お尻のオマンコ」を

見える様にしてあげてえ♥

パンティーは脱がせてもいいし、お尻の穴だけが見える様に、

股間の部分をズラしてもいいわよお♥

男の娘を「好きに出来る」のは、ご主人様の特権なんだから♥

(アナルを露出)

やああん、スケベちゃんたちの「お尻のオマンコ」、
「丸見え」になっちゃったよお♥ 恥ずかしいねえ？

ほおら隠しちゃダメ♥ うふふ♥

ピクピク震えて、男の人のオチンポを欲しがってるみたい♪

あら！？ みんなのスケベな「お尻のオマンコ」を観て、
ご主人様たちが、オチンポをムクムク反応させちゃってるわよお♥

うふふ♥ 君たち分かてるのお？

オチンポが勃起しちゃうってことはあ、ペアの娘の「お尻の穴」に欲情して、
「セックスしたいよ〜」って、「君たちの脳」が考えてるってことなのよお？

ホントは「男同士」なのに、お尻の穴を観て勃起しちゃうなんて♥

いいわほら、男の娘のお尻の穴を観て勃起しちゃう「変態」のオチンポに、
用意して来たローションをたっぷり塗ってなさい♥

…そう、うふふ♥ 今から僕は、この娘のお尻のおまんこにオチンポを挿入して、
「男の娘同士」でセックスするんだ〜って想像しながらよお♥

ほおら、何してるの？ 君たち男の娘も、スケベにお尻を振って、
こう言ってご主人様のオチンポを欲しがらなきゃ♥

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああん、ご主人様♥ オッパイや乳首の刺激でスケベに火照った、
私の「お尻おまんこ」に、オチンポを(い)挿れて下さい♥」

はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「ああ…ご主人様あ♥ オ、オッパイや乳首の刺激でスケベに火照った、
私の、お…「お尻オマンコ」に、オチンポを挿れて下さい！」

(先生もゾクゾク)

やあん、みんな可愛いわよお♥

(ペアに)

いいわ、ほら力を抜きなさい♥

先生のガッチガチの「お勃起チンポ」、君のお尻のオマンコに挿れてあげる♥

(みんなに)

さあほら、みんなも♥

ペアの男の娘の「オマンコ」に、ゆっくりオチンポ挿れてあげてえ♥

(挿入)

いくわよお、ん♥ んああ♥

ほおら、スケベちゃんたちのお尻オマンコに、オチンポが入ってるわよお♥

みんな「女の子になりきって」、

お腹の中でオチンポが動く、イヤラシイ感触を楽しみなさい♥

さあほら、グッチョリと濡れたオチンポで、

スケベちゃんたちのオマンコを、グリグリ搔き回してあげるわよお♥

(喘ぎ声2 ふつう テンポふつう)

んん♥ 一番深くまで挿入してえ…♥

腰をグラインドさせたら…ああん、ほら♥

お腹の中で、お勃起した硬いオチンポが動いてるの、分かるう？

ああん♥ ああん♥ オマンコ気持ちいい♥ オマンコ気持ちいいねえ♥

君は今、オチンポを挿入「される側」の、

「女の子セックス」をしているのよお♥ どんな気分なのお？

あらあら、可愛い声が漏れちゃって♥ イヤラシイ娘♥

ほおら、同時にオッパイと乳首も虐めて上げるから、

もっともっとスケベな声で鳴きなさい♥

いくわよお♥ 女の子みたいにぷっくり膨らんだ可愛いオッパイをお♥

モミモミ♥ ぷるぷる♥ モミモミ♥ ぷるぷる♥

やあん、もう汗の匂いまで女の子になっちゃってるわよお♥

ほおら、敏感になってる「女の子オッパイ」を♥

モミモミ♥ ふるふる♥ モミモミ♥ ふるふる♥

なあに、その物欲しそうな顔は？

うふふ、オッパイもみもみだけじゃなくて、

乳首もクリクリされたいんでしょう？ ホンッとスケベちゃん♥

ほおら、勃起して敏感になってる、スケベな「女の子乳首」ツンツン♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「あん♥ あん♥」

ツンツン♥ クリクリ♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「あん♥ あん♥ ああん♥」

やだ、ちょっと！？ オチンチンが破裂しちゃうそうなくらい、

「ギンッギン」に勃起してるじゃないの♥

ほら、スカートで隠そうとしないの♪

まったく、心も身体も、女の子になりきりなさいって言うてるのに、

オチンチンの勃起が(おさ)抑えられないなんて、この「変態」め♥

(ニヤニヤ叱る)

ほら、オチンチンには触っちゃダメよ！

気持ち良くなっていいのは、「オッパイ」と「お尻のおまんこ」だけよ♥

さあ、ピストンのスピードを上げるわよお♥

(喘ぎ声3 強め テンポはやめ)

(先生もちよっとずつ 呼吸は乱れてきます)

ああん、可愛い声で鳴いちゃって♥

ん、はあ、なに、後ろからオマンコ突かれて、

女の子みたいに感じちゃったのお？ ねえ、変態のスケベちゃん♥

ほら、こう言ってご主人様に喜んで貰いなさい♥

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「一生懸命締め付けますので、私の「スケベな穴」を「使って」、

オチンポいっぱい気持ち良くなって下さい、ご主人様♥」 はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「あん、あん、ああん♥

一生懸命締め付けますのでっ、私の、ス、「スケベな穴」を「使って」、
オチンポいっぱい気持ち良くなって下さい、ご主人様～！」

ああん♥ いいわあ、ほら、もっとワザとイヤラシイ言葉を使ってえ♥

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああん♥ お尻が「女の子」になっちゃう♥

ご主人様とのセックスで、お尻オマンコが、「女の子」になっちゃう♥」

はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「あん、あん、いやあん♥ お、お尻が「女の子」になっちゃう！

ご主人様とのセックスで、お尻オマンコが、「女の子」になっちゃう〜♥」

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああん♥ オマンコいい♥ オマンコいい♥

もっと後ろから、オチンポで突いて下さい、ご主人様♥」

ほら、イヤラシクお尻をフリフリしながら言いなさい♥

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「いやあん、あ、あ、ああん♥ オマンコいい♥ オマンコいい♥

ああ、んああ！ もっと後ろから、オチンポで突いて下さい、ご主人様あ！」

ああん♥ みんなとっても可愛い「スケべちゃん」よお♥

どうしてもまだ、口に出して言うのが恥ずかしい娘は、

先生が言う台詞を、自分が言ってると思ってえ♥

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああん、もっとしてえ♥ オマンコしてえ♥

オチンポ好き♥ オチンポ好き♥ オチンポ大好きいい♥

ビンッピンに勃起したオチンポで、私のオマンコを可愛がって下さい♥」

「ああ、女の子になりたい♥ 女の子になりたい♥

お尻のオマンコで、もっともっと私を「女の子」にして下さい♥」

ほおら、完全に女の子になっちゃった敏感な「お尻オマンコ」の中で、

オチンポがグチュグチュ動いてるわよお♥

気持ちいいねえ♥ それが、女の子としての「(よろこ)悦び」よお♥

「ああん、女の子気持ちいい♥ 女の子気持ちいい♥

女の子セックスで、女の子セックスで、もう男に戻れなくなっちゃう♥」

うふふ、ご主人様役の娘たちも、もうオチンチン我慢出来ないよねえ？

こんなスケベで可愛い男の娘と、セックスしてるんですものねえ♥

それじゃあ今日は、ペアの男の娘の「お尻オマンコ」に、

精子を「中出し」してあげようねえ♥

ほおら、みんなイヤラシクお尻を振りながら、

こう言って、ご主人様の精子をオネダリするのよお♪

(先生が男の娘の台詞を代弁)

「ああん、ご主人様♥ このまま、どスケベな私の「変態お尻マンコ」に、

ザーメンをいっぱい「中出し」して下さい♥」

ほら、いっぱい甘えて♥ はい♪

(男の娘のセリフ 可愛く恥ずかしそうに)

「あ、あ、ああん！ ご主人様あ♥

このまま、ど、どスケベな私の「変態お尻マンコ」に、

ザーメンをいっぱい、「中出し」して下さい♥」

いいわほら！ オッパイや乳首を虐めながら、

硬いオチンポで、お尻マンコを激しくピストンしてあげて！

みんな「男の娘同士のセックス」で、妊娠しちゃいなさい！

(先生が代弁 盛り上げる様に)

「ああん、女の子になっちゃう、女の子になっちゃう！」

頭の中も、火照ったスケベな身体も、全部「女の子」になっちゃうう！」

「メスイキするう！ ご主人様のチンポで、メスイキしちゃう！」

女の子になったお尻の穴が、キュンキュン締まってメスイキしちゃう～！」

いいわほら、オマンコの中に、いっぱい出してあげて！

みんな、ご主人様に「中出し」してもらいながら

「どスケベな顔」で、「メスイキ妊娠」しちゃいなさい！

(喘ぎ声4 強め絶頂前 テンポはやい)

(メスイキを煽る)

「ああん、ああん！ 妊娠するう！ 妊娠するう！」

ご主人様のオチンポで、メスイキ妊娠しちゃううう～～！！」

(数秒 間)

はあ、はあ♥ ああ～あ、みんなイヤラシイ顔でイっちゃったあ～♥

くすっ、お腹の中にザーメンを発射して貰う快感、どうだった？

きっと「男の娘同士」で、赤ちゃん出来ちゃったよお？ うふふ♥

■第4話_ご主人様との性行為疑似体験講習2_セルフ精飲

(ニヤニヤ叱る)

あらあ？ メスイキまでしてるのに、まだみんな、

スカートの中でオチンチンをムズムズさせてるわねえ？

なあに？ オチンチンも触って欲しいの？

オッパイやオマンコだけじゃ、満足出来ない？

…もう、みんな女の子なのに、しょうがないわねえ♥

それじゃあ、特別にオチンチンも可愛がってあげるけど、

「さっき宣言したこと」、守って貰うわよ？

うふふ♥ まさか忘れてないでしょうねえ？

もし射精しちゃったら、「自分で自分の精子を飲む」っていう約束よ♥

さあ、ご主人様役の娘は、お勃起しちゃってる

「悪い男の娘」のオチンチンを、後ろから握ってあげてえ♥

あら、なあに？ 真っ赤になって首を振って♥

「自分の精子」なんて飲めない？

うふふ、そうよねえ、「自分で自分の精子を飲んじゃう」なんて、

「最っ低の変態行為」よねえ？

でもダメ♥

君達は、今から「自分で自分のザーメンを飲む」のよお♥ うふふ♥

やだ、涙目になっちゃって、可愛い♪

…くすっ、しょうが無いわねえ♥

じゃあ、どうしても難しいって言う娘は、ご主人様の「手の平」に、

少しずつ「精子をお漏らし」して、それを舐めさせて貰いなさい♥

それなら、「イヤラシイ気持ち」を維持したまま、

自分のザーメンを美味しく飲めるでしょう？

もちろん、一気に射精してからの「(せいいん)精飲」が最終目標よ？

チャレンジしてみようって娘は、最後まで射精を我慢してから、

「セルフゴックン」してごらんなさい♥

さあみんな、一滴残らず「自分のザーメン」を飲む、

「変態でどスケベな姿」を、ご主人様に観て貰いましょうねえ♥

ご主人様役の娘は、後ろから、ペアの男の娘のオチンチンの下に、

片方の手の平で「お皿」をつくってあげてえ♥

それからもう片方の手で、

ゆっくりとオチンチンをシコシコしてあげて欲しいの♥

いっぱいメスイキして、オチンチンが敏感になってるから、
男の娘が一気に射精してしまわない様に、気をつけてあげてね♥

いい？ ちょっとずつ飲む娘は、
ご主人様の手の平の上に、「少しずつ」精子を垂らすのよ？

(喘ぎ声1 おとなしい テンポおそい)

ああん、ああん♥ オチンチンすごく敏感になってるねえ♥
女の子なのに、オチンチンで感じて、エッチな声を出すなんて♥
悪い子たち♥ ホンッと「変態」♥

やだ！？ 「変態」って言われて、
またオチンチンがビクビクしてるじゃない♥
なあに、「変態」って言われたら、興奮しちゃうの？ ねえ、変態？

これから何をさせられるのか、分かっているのかしらあ？

君たちは今から、「自分で自分のザーメンを飲まされる」のよお？

うふふ♥ こ～んな変態行為をさせられるっていうのに、

オチンチンをびくびくさせるなんて♥

みんな心も身体も、ぜ～んぶ「変態」なのねえ♥

なあに？ もうオチンチン限界なの？

そう♪ そんなに「自分の精子が飲みたい」のね？

いいわ♥ 一気に出不さない様に気をつけるのよ？ 少しずつ少しずつ♥

普段、「射精を我慢する時」に使ってる、お(また)股の筋肉を緩めるの♥

ああん、オチンチン気持ちいい、精子出ちゃう精子出ちゃう～♥

いいわ、ほら出しなさい♥ 力を抜いて、ゆっくりトロオ〜っと♥

恥ずかしいザーメンを、ご主人様の手の平にお漏らしするのよ♥

そう、トロオ〜って♥

やぁん、出てる出てる♥ 自分で飲む為の、

スケベちゃんの恥ずかしい「金玉ミルク」♥

さあ、お漏らししたばかりの新鮮なザーメンを、

お口の前に持って行ってあげてえ♥

よおく観なさい、ほら♥

今から君が舐めて、味わって飲み込む、

君のおチンチンから出てきた、新鮮な「自分の精子」よお♥

ああ、そうだ♪

舌の上の唾液を全部吸って飲み込んでおきなさい♥

うふふ、何でかって？

もちろん、自分の精子の味と匂いを、最大限に楽しむ為よお♥

せっかくの新鮮な「自分のザーメン」だもの、

唾液で薄まったら勿体ないでしょう、くすくす♥

さあ次は、心の中で何度も自分に言い聞かせなさい♥

精子飲みたい♥ 精子飲みたい♥

自分のザーメンを「ペロペロゴクン」したいって♥

そう、「変態の君」は今、「自分で自分の精子」を飲みたいの♥

いいわ♪ 舌をのばしてザーメン舐めなさい♥

そう、ペロペロ、チュッチュ♥

(数秒 間)

ああん♥ 口の中に「自分の精子」が入っちゃったわよお♥

うっふふ、ホンッと「最っ低の行為」よねえ♥

「自分のザーメン」を口に含むなんて♥

さあ、鼻で息をしながら、舌の上で自分の精子を味わいなさい♥

どう？ 「自分のザーメン」の味は？

イヤラシイ味と匂いで、頭が変になっちゃいそうでしょう？

はあい、それじゃあ「お待ちかね」♥

喉を鳴らして、自分の精子を飲みなさい、変態ちゃんたち♥

はい飲んで♥ ジュルジュル、ゴックン♥

ほら、鼻で息をして、「自分の精子」の味も匂いも、全て感じなさい♥

(数秒 間)

あはは、やだあ、可愛い顔して、

「自分で自分の精子を飲んじゃう」なんて♥

よくそんな「変態行為」が出来るわねえ？

だけどソレが気持ちいいよねえ？

「自分で自分のザーメンを飲む」、そんな「ど変態」な行為が、

スケベちゃんたちを、もっともっとイヤラシイ気持ちにさせちゃうねえ？

さあほら、精子はまだ残ってるでしょう？

はいもう1回♪ オチンチンの下にお皿を作ってあげてえ♥

次も一度に出さない様に、スピードを調整して触ってあげましょうねえ♥

ああん、「自分のザーメンの味」で興奮して、

さっきよりももっと、オチンチン敏感になってるねえ♥

ほら、全部出しちゃダメよお？ ゆっくりお尻の力を(ゆる)緩めてえ♥

ご主人様の手の平に、次は、ごめんなさい♥ ごめんなさい♥ って、

謝りながら、恥ずかしいミルクをお漏らししましょうねえ♥

ああん♥ ごめんなさい、ごめんなさい♥

女の子なのに「オチンチンお勃起」させて、ごめんなさい♥

女の子なのに、「ザーメンお漏らし」して、ごめんなさい♥

いいわ、ほら出してえ〜♥ トロオ〜♥

少しずつ少しずつ、謝りながら♥

トロオ〜〜♥

うふふ、また「漏らしちゃった」ねえ、ご主人様の手の平に、

恥ずかしい「金玉のミルク」♥

さあ、また飲ませて貰うよお♥

2回目だから、もう平気で飲めちゃうよねえ？

「自分のザーメン」♥

はい、お口の前に持って来てえ♥

舌の上にさっき飲んだミルクがまだ残ってたら、

唾液と一緒に、全部飲み込んでおくのよお♥

さあ、それじゃあ2回目のセルフゴックン、いくよお♥

はい、舐めて♥ ペロペロ、ペロペロ♥

ああん♥ 美味しい、美味しい♥ 自分のザーメン美味しい♥

そう、たっぷり舌の上で味わってからあ…飲んじゃうよお♥

はい、ゴックン♥ うっふふ♥

ああん、自分は「何て変態な行為」をしてるんだろうって思うと、

イヤラシイ気持ちか、(おさ)抑えられなくなっちゃうねえ？

ほおら、もう全部出しても、飲めちゃいそうでしょ？

そう、君は女の子♥

「ザーメンの味」がだ〜い好きな、「ど変態の女の子」よ♥

はあい、次で最後よ♥

「一気に出してゴックンする娘」も、次はみんなと一緒に射精するのよお♥

さあ、またオチンチンの下にお皿をつくって上げて♥

もう容赦する必要は無いわよお♥

めいっぱいシコッて、スケベちゃんたちのオチンチンを

イカせてあげてえ♥

(喘ぎ声4 強め絶頂前 テンポはやい)

(高速でシコシコ煽り)

ほおら、シコシコ、シコシコ！

(先生 盛り上げる様に)

「ああん、オチンチン気持ちいい！ オチンチン気持ちいい！」

「精子出ちゃう！ 精子出ちゃう！」

「お漏らししたミルクは、「自分で全部ゴックン」しますから、

私のオチンチンをイかせて下さあい♥」

そう、ご主人様の手で、

オチンチンのミルクをぜ〜んぶ「(さくにゅう)搾乳」して貰おうねえ♥

「ああん、ザーメン大好き♥ ザーメン大好き♥」

「飲みたい♥ 飲みたい♥ 自分のザーメン飲みたい♥」

「自分の出したザーメンを自分で飲む、「ど変態な姿」を観て下さ〜い♥」

いいわ、出して！ ゴメンナサイって謝りながら、

ご主人様の手の平に、金玉が空っぽになるまで、ザーメン出しきりなさい！

(数秒 間)

ああん♥ ぜ〜んぶ出たねえ、スケベちゃんのザーメン♥

うふふ、悪い娘♥

女の子なのに、オチンチンからおんなにいっぱい、

「白いお(しる)汁」を「お漏らし」しちゃうなんて♥

ほら、お口の前に持って来てあげてえ♥

どう？ たっぷり出し切った、自分のザーメンは？

すごくイヤラシイ匂いで、美味しそうでしょう？

(暗示にかける様に)

飲みたいねえ、「自分のザーメン」♥

ああん、飲みたい♥ 飲みたい♥ ザーメン飲みたい♥

いいわ、飲みなさい♥

女の子になりきって、その可愛いお口で

「自分のザーメン」をジュルジュル音を立てて舐め取って、

「セルフゴックン」しなさい♥

ほおら、ジュルジュル♥ チュッチュ♥ ゴックン♥

(数秒 間)

うふふ、「自分のザーメン」のイヤラシイ味と匂いで、

みんなすっごく「スケベな顔」になってるわよお♥

どう？ 美味しかった、「自分のザーメン」は？ うふふ♥

はあい、これで「ご主人様との性行為疑似体験講習」はお終いよ♥

まだ抵抗があって、今回は飲むことが出来なかった娘も、
焦らずゆっくり、「精子の味」に慣れていきましょうねえ♥

お友達と、「お互いの精子」を飲み合っ子して、
「(せいいん)精飲プレイ」に慣れていくのもいいわよ♥

(ニヤニヤ)

もちろんその時は、「男の娘同士のシックスナイン」で、
お互いのオチンチンを、「フェラチオし合う」のよお♥
うふふ♥ すごくスケベで、ドキドキするでしょう？

それじゃあ、今日の授業はここまでよ♥

みんなお(うち)家で「ひとりでする時」も、学校での授業を思い出して、
心から「女の子になりきって」、オナニーを楽しんで頂戴ね♥ うふふ♥